

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖西中学校
校長 日吉 敬子

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

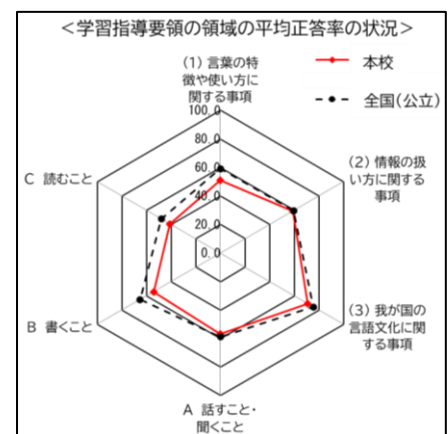
令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
※ 調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

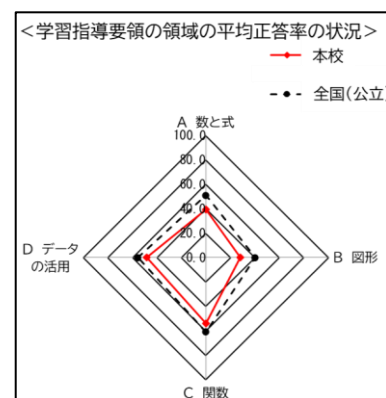
(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・意見と根拠等、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題の平均正答率は、全国を上回っていました。
- ・無回答率については、ほとんどの問題で全国を下回っていました。しかし、話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えを書く問題、目的に応じて必要な情報に着目しながら要約して書く問題、また、自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書く問題については無回答率が全国を上回っており、「書くこと」に課題を抱えている生徒が多いことが伺えます。文脈に即して漢字を正しく書く問題についても、無回答率が全国を上回っていました。
- ・読み物教材の中で語彙力を高めることや、長い文章を読むことに慣れさせていくことが必要です。
- ・場面や目的に応じて考えを書く活動を増やし、その中で表現を工夫することや、その工夫による効果を考え、生徒同士で説明し合ったり、気づきを伝え合ったりする等の学習を通して力を付けていく必要があります。



(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる問題の平均正答率は、全国を上回っていました。
- ・記述して説明する問題の無回答率が高く、理由や問題解決の方法等を数学的に説明すること等に苦手さを感じている生徒が多いことが伺えます。
- ・簡単な計算やデータの活用に係る力を身に付けるために、基本的な問題に繰り返し取り組む必要があります。また、解決された問題やその解決の過程を振り返り、条件を変えた場合について考えるなど、問題を広げたり、考えを深めたりする学習を増やす必要があります。



3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・ほとんどの生徒が朝食を毎日食べており、起床・就寝の時間も安定していることが分かりました。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」、また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という問いに肯定的な回答をした生徒の割合は、全国の割合を上回っていました。
- ・平日にゲームや携帯の使用、動画の視聴を2時間以上している生徒が半数以上おり、全国の割合を上回っていることが分かりました。
- ・平日授業以外の学習時間について、2時間以上取り組んでいる生徒の割合は、全国を下回っており、「2時間より少ない」と回答した生徒が、7割を超えていました。休日の学習時間についても、「1時間以下」及び「全く学習しない」と回答した生徒が半数近くいることが分かりました。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・基礎・基本の定着を目指し、授業や家庭学習の重要性を生徒に伝えるとともに、つまずきの早期発見に努め、全体や個別の指導を充実させていきます。
- ・全教科において、分かったことや考えたこと等を整理し、目的や場面に応じて適切に記述する学習活動を取り入れていきます。
- ・今後も教科の学習や学校行事等を通して、自己決定や挑戦の機会、また、自らの夢や目標について考える機会を設定していきます。
- ・ご家庭でも次のようなことを心がけ、お子様を励ましていただければと思います。

1 授業で学習した内容の定着を図るために、家庭での学習時間をつくる

【学習時間：学年＋1時間（「家庭学習の手引き」参照）】

- ☐ 学習する時間や時間帯を決めて実践させ、学習習慣の確立を目指させる。
- ☐ ゲームや動画視聴等、電子機器使用の時間について約束事を決め、長時間にならないようにする。
- ☐ 理解・習得ができていないことについての学習や、テストのやり直し等、自主学習に取り組ませる。

2 生活のリズムを整え、お子様とのコミュニケーションの時間を大切にする

- ☐ 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にさせ、習慣化させる。
- ☐ 学校での出来事や部活動のこと、将来について等、話をする時間をつくる。また、家事などを通して、協働する機会を設ける。
- ☐ お子様のよさや努力を認め、ほめる。